

## タッチパネル PC

# LT-WMT10L / LT-WMT10M シリーズ ユーザーズマニュアル

**Logitec**

# 目次

取り扱い上のご注意	3
廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意	9
ごあいさつ	10
本体使用上のご注意	11
本体と付属品の確認	13
各部の名称	15
本体ボタンによるキーボードエミュレーション	19
電源ボタン操作によるタブレットの動作	19
バッテリー使用上のご注意	20
バッテリーの取り付け/取り外し/充電	21
「HotTab」メニューについて	24
その他の機能・設定	44
デスクトップクレードル	49
車載クレードル	53
バッテリー充電台	56
トラブルシューティング	58

## 取り扱い上のご注意

### 本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

### 表示について

- ・この「取り扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解しながら本文をお読みください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある項目です。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かの注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



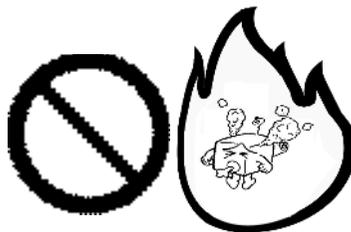
塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

# ⚠ 危険

## バッテリーパックに関する注意

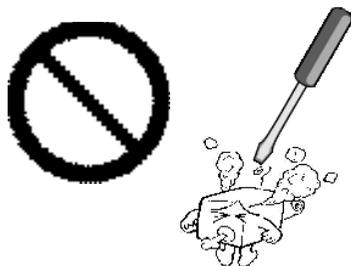
- 火中に投入したり、加熱したりしない。

発熱・発火・破裂・爆発の原因になります。



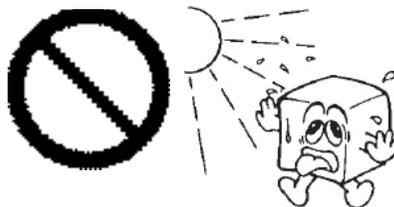
- くぎなど尖ったもので刺さない。また、衝撃を与えたり、分解改造をしない。

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



- 火のそばや炎天下、高温の場所での充電・使用・放置をしない。

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



- 対応温度・環境以外で充電しない。

対応温度・湿度範囲外の充電は液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



- 指定外のバッテリーパックを使用しない。

製品指定外のバッテリーパックを使用しますと液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



- プラス (+) とマイナス (-) を金属などで接触させない。

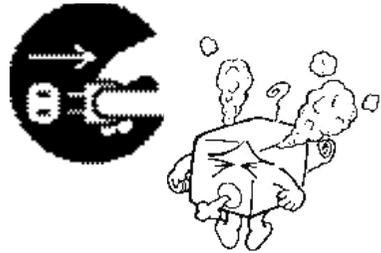
ネックレス、ヘアピンなどの金属といっしょに持ち運んだり保管するとバッテリーの端子が接触し、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



# 警告

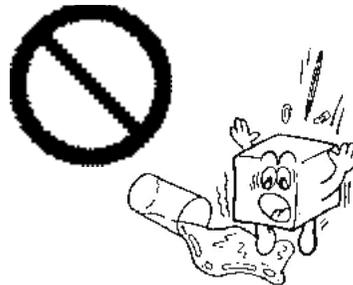
## ● 万一、異常が発生した時。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社テクニカルサポートにご相談ください。



## ● 異物を入れない。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。  
※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り弊社テクニカルサポートにご相談ください。



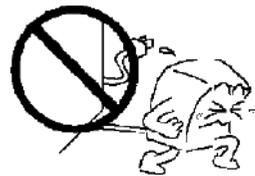
## ● 表示された電源で使用する。

電源コードは必ず AC100V のコンセントに接続してください。



## ● 電源コードを大切に。

電源コードは破損しないよう十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被覆が破れて感電や火災の原因となります。



## ● 製品を固定する。

本製品の使用时には、固定するなど製品が転倒しないよう防止策をとってください。転倒が起きた場合、怪我や機器破損の原因となります。



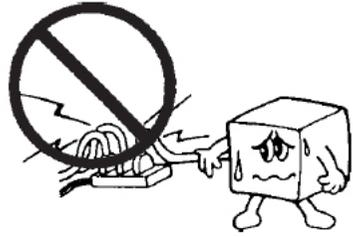
## ● 使用中は本体やアダプター・コードに長時間触れて使用しない。

やけどや低温やけどの原因となります。



# ⚠ 注意

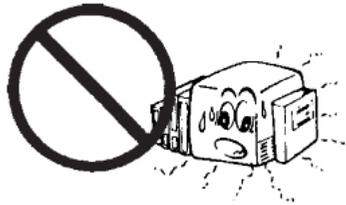
- 電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



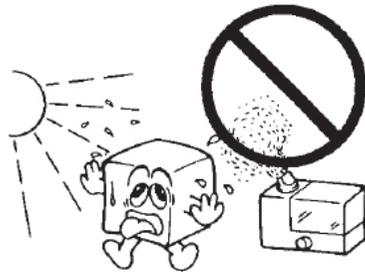
- 電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



- 通風孔をふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用や保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

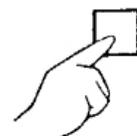


- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用や保管は避けてください。

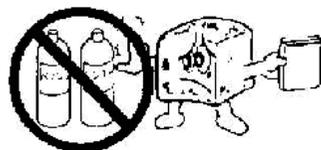


- 電源スイッチを一度 OFF にした時は、10 秒～30 秒以上たってから「ON」にしてください。推奨は 30 秒以上です。

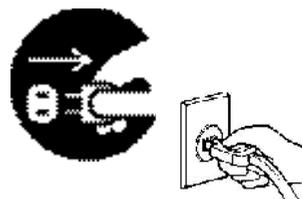
1・2・3・4…10



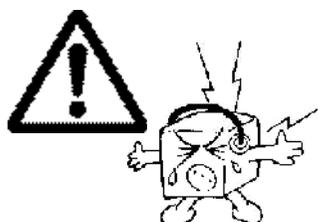
- 本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



- 本製品を長期間使用しない場合は、バッテリーを本体から外し、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



- 本製品を使用して、サウンドを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害が発生する場合があります。特にヘッドフォンを使用する場合は、必ず最初にヘッドフォンを耳から離れた状態で音量を確認してください。



- LCD パネルは、膨大な数の薄膜トランジスタ（TFT）で構成されています。画面上で小数のドットの欠落、変色、発光が見られる事もありますが、これは、TFT 液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。



- 本製品には、有寿命品が含まれております。LCD（液晶）パネル、バックライト、タッチパネル、電池、コンデンサ、電源アダプター等の経時による劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加、感度低下、機能低下など）生じた場合は、保証期間でも有償修理とさせていただきます。



- 継続してご使用になる場合には、定期的なデータのバックアップ及びメンテナンス（有寿命品の交換、清掃）を行ってください。

## ■ 電波に関する注意事項

この機器の仕様周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただき、混乱回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電場干渉の事態が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

## 廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

■ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

●本製品を廃棄する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

●ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなく本製品を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

### ハードディスクを廃棄する場合

ご使用のハードディスクを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

### 半導体補助記憶装置

本製品では、ハードディスクの代わりに、半導体補助記憶装置を使用することが可能です。このような場合は、上述のハードディスクの箇所を CompactFlash カードなどの半導体補助記憶装置に読み替えてください。

# ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書では製品の設定接続方法、機能や仕様等についてのご説明をいたします。ご使用前に必ずご一読ください。

## ご注意

- ①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することを禁止させていただきます。
- ②本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡願います。
- ③本書に記載されている機種名やソフトウェアのバージョンは本書作成時の情報です。最新情報については、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。
- ④本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容は、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
- ⑤本製品に保存したデータについては、理由を問わず一切の保証はいたしかねます。誤操作、落雷などの自然災害、経年劣化や不慮の事故等による製品故障に備え、重要なデータはあらかじめバックアップ（データの複製）をお願いします。
- ⑥本製品の仕様はお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑦本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- ⑧本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関して弊社ではいかなる責任も負いかねます。また弊社では海外使用に関するサービス・サポートは一切行っておりません。
- ⑨本製品を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、弊社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。

\* Microsoft(R), Windows(R) は米国 Microsoft 社の登録商標です。その他本書に掲載されている商品名や社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

## 本体使用上のご注意

- ・ 本製品の耐衝撃落下性能、耐振動性能、防塵防滴性能は製品の無破損、無故障を保証するものではありません。
- ・ 動作温度範囲内であっても、急激な温度変化にさらすと故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・ 本製品はバッテリーパックを装着しない状態での運用は推奨いたしません。  
電源アダプターの抜けや停電による予期せぬシャットダウンが起きた場合、本体が故障する可能性があります。ご注意ください。
- ・ LT-WMT モデルでバッテリーパックを交換する場合は、必ず電源アダプターを外した状態でおこなってください。
- ・ 電源アダプターは必ず付属品をお使いください。  
付属品以外を使用しますと故障の原因になります。
- ・ 本体のリセットボタンは、本体がフリーズし電源ボタンを押しても反応がない場合にのみ使用ください。むやみに使用すると故障の原因となります。  
また、リセットボタンを押すと日付・時刻がずれる場合があります。

## マニュアル中の表示について

本機を使用するにあたり役に立つ情報の提供や、ハードウェアの破損、故障の可能性の警告のため、次の「メモ」、「重要」、「注意」の3つの記載が本マニュアルでは使用されています。



### メモ

役に立つ情報を記載しています。



### 重要

知っておいていただきたい重要な情報を記載しています。



### 注意

ハードウェアの破損、故障の可能性があることや、問題を回避する方法を説明しています。

## 本体と付属品の確認

---

本体と標準付属品が揃っていることを確認してください。

万一、足りないものがあったり、破損しているものがあった場合は、販売店または弊社サポート窓口までご連絡ください。

## 本体と標準付属品一覧

---

●本体



●標準バッテリー



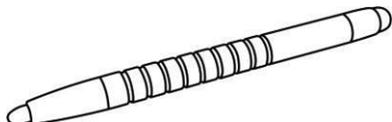
●電源アダプター



●電源コード



●タッチパネル用スタイラスペン



※本体背面のスタイラスペンスロットに格納されています。

## オプション品

---

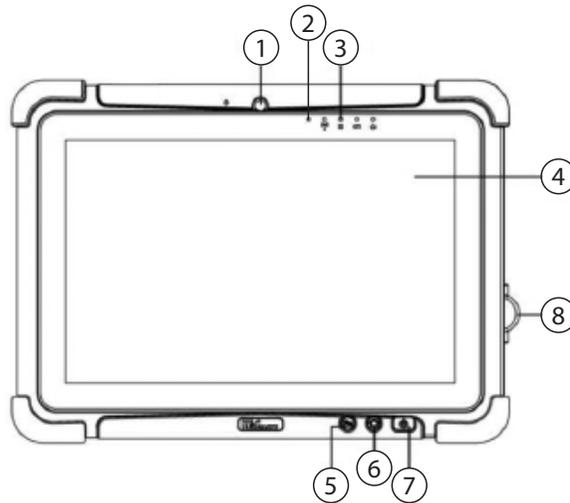
お客様のご注文の内容によっては、以下のオプション品が同梱されている場合があります。  
ご注文内容を確認し、オプション品が揃っていることを確認してください。

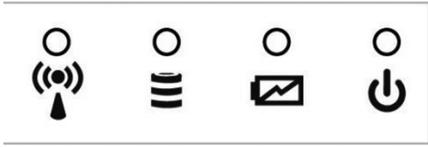
### 本製品に対応したアクセサリ

- 有線 LAN 接続ケーブル
  - ・ LAN/COM 拡張ポートに接続します
  - ・ コネクタ形状：RJ45、メス
  - ・ ギガビット LAN、10/100/1000Mbps 対応
  - ・ 長さ：約 10cm
- バッテリー充電台
  - ・ 充電ベイを 2 つ搭載
  - ・ LED ランプでバッテリーの充電状態を確認可能
- デスクトップクレードル
  - ・ USB 2.0 ポート× 4（右側面× 2、背面× 2）
  - ・ 有線 LAN コネクタ× 1（10/100 Mbps）
  - ・ VGA ポート× 1
  - ・ シリアル (COM) ポート× 1
- ハンドストラップ
  - 本製品を取り付けることにより、本機を片手で操作・持ち運びすることができます。
- COM 接続ケーブル
  - ・ LAN/COM 拡張ポートに接続します
  - ・ コネクタ形状：DB9 シリアル RS232 ケーブル、メス
  - ・ 長さ：約 10cm
- 車載用クレードル
  - ・ VESA 規格のマウント対応
  - ・ USB 2.0 ポート× 4（右側面× 2、底面× 2）
  - ・ 有線 LAN コネクタ× 1（10/100 Mbps）
  - ・ シリアル (COM) ポート× 1
  - ・ キーロックによる簡単な取り外し機構
- ショルダーストラップ
  - 本製品を取り付けることにより、本機を肩や首にかけて持ち運ぶことができます。

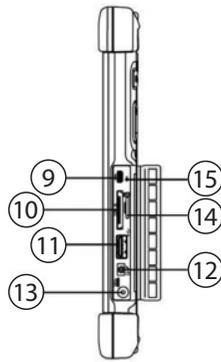
# 各部の名称

## 前面



番号	名前	説明
1	フロントカメラ	200 万画素のカメラです。
2	照度センサー	周辺の明るさを検知するセンサーです。
3	表示ランプ	本機の状態を示すランプです。以下の 4 つのランプがあります。それぞれのランプについては「表示ランプ」「表示ランプ」(p. 18) をご覧ください。 
4	タッチパネル	OS などの画面が表示されます。また、指や付属のスタイラスペンなどで OS の画面を直接タッチして操作できます。タッチ操作に使用できるデバイスはタッチパネルの操作モードにより異なります。
5	Fn1 ボタン	本機の機能やアプリケーションの起動などを割り当てることができるボタンです。設定は「HotTab」メニューで行えます。
6	メニューボタン	「HotTab」メニューを表示します。
7	電源ボタン	本機の電源をオン/オフします。 本機の電源を入れるときは、電源ランプが青色に点灯するまで、約 3 秒、電源ボタンを押してください。
8	I/O カバー	本機のインターフェースを保護します。 I/O カバーを使用しないと、本機の耐衝撃落下性能、耐振動性能、防塵防滴性能が正しく機能しない場合がございます。 持ち運びをする際は必ず I/O カバーをつけてください。

## 右側面



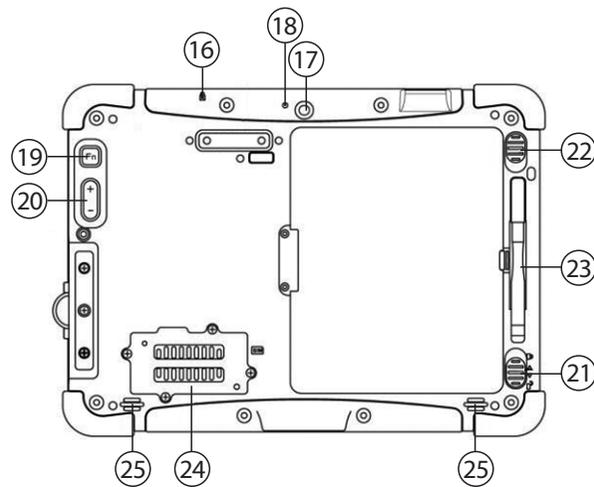
番号	名前	説明
9	Micro HDMI ポート	HDMI コネクタを持つ外部ディスプレイやテレビと接続します。
10	LAN/COM 拡張ポート	有線 LAN 接続ケーブル、または COM 接続ケーブルを接続するためのポートです。
11	USB 3.0 ポート	USB メモリ、マウス、キーボード、プリンタなどの USB デバイスを接続します。USB 3.0 規格に対応しています。
12	ヘッドセット用 4 極ポート	ヘッドセットまたはヘッドフォンを接続できます（マイクは 3.5mm 4 ピンヘッドセットのみでサポートされています）。
13	電源コネクタ	付属の電源アダプターを接続します。
14	Micro SD カードスロット	Micro SD カード用のメモリカードリーダーポートです。
15	リセットボタン	本機を強制的にシャットダウンさせるボタンです。ペンの先や爪楊枝などでボタンを押してください。



### 注意

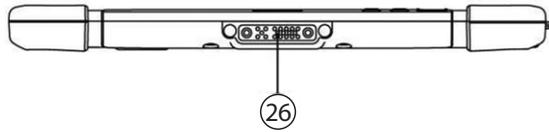
- ・リセットボタンは、本機がフリーズし、電源ボタンを押しても反応が無い場合など、やむを得ない場合にのみ使用してください。むやみに使用すると故障の原因となります。
- ・リセットボタンを使用して強制シャットダウンを行うと、日付・時刻がずれる場合があります。その際は BIOS の日付・時刻設定を行ってください。

## 背面



番号	名前	説明
16	盗難防止用ロック	セキュリティワイヤーを接続します。
17	リアカメラ	500 万画素のオートフォーカス機能付きカメラです。写真や動画の撮影に使用します。
18	フラッシュ	リアカメラ撮影時に使用するフラッシュ (LED) です。
19	Fn2 ボタン	本機の機能やアプリケーションの起動などを割り当てることができるボタンです。設定は「HotTab」メニューで行えます。
20	音量ボタン	音量調節をします。(+) を押すと音量が上がり、(-) を押すと音量が下がります。
21	バッテリーロックラッチ	バッテリーリリーススライダーを操作しても、バッテリーが外れないように固定します。
22	バッテリーリリーススライダー	バッテリーを固定するバネ式のスライダーです。
23	スタイラスペンスロット	付属のスタイラスペンを収納します。
24	3G/LTE モジュール / SIM カードスロット	カバーを外すと、3G / LTE モジュールおよび Micro SIM カードスロットへアクセスできます。
25	スピーカー	本機の再生音を出力します。

## 底面



番号	名前	説明
26	ドッキングコネクタ	デスクトップクレードルや車載クレードルと接続するためのコネクタです。

## 表示ランプ

	名称	説明
	電源ランプ	青：電源オン 消灯：スリープ、休止状態、電源オフ
	バッテリーランプ	橙：充電中 緑：充電完了 赤点滅：バッテリー未接続 赤：バッテリー残量 10% 未満（バッテリー使用時） 消灯：バッテリー残量 10% 以上（バッテリー使用時）
	ディスクアクセスランプ	緑：ディスクアクセス中 消灯：ディスクアイドルリング中（ディスクにアクセスしていない）
	ワイヤレスランプ	緑：Wi-Fi/Bluetooth/WWAN/GPS のいずれか 1 つ以上がオン 消灯：Wi-Fi/Bluetooth/WWAN/GPS がすべてオフ

# 本体ボタンによるキーボードエミュレーション

本体のボタンは、POST 画面や BIOS 画面などでは、キーボード入力の代わりに使用できます。

## POST 時 / BIOS 画面 (Windows 起動前)

本体のボタン	対応するキーボードのキー操作
メニューボタン	【F6】 (BOOT 選択メニューを表示)
Fn1 ボタン	【F7】 (BIOS 画面を表示)
Fn2 ボタン	【ESC】
音量ボタン (+)	【↑】
音量ボタン (-)	【↓】
メニューボタン + Fn1 ボタン	【Enter】
メニューボタン + 音量ボタン (+)	【→】
メニューボタン + 音量ボタン (-)	【←】

## Windows 使用中

本体のボタン	対応するキーボードのキー操作
音量ボタン (+) + 音量ボタン (-)	【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Del】

## 電源ボタン操作によるタブレットの動作

本体の電源ボタンは 1 秒以上押すと動作します。

以下に電源ボタン操作によるタブレットの動作を記載します。

本体の電源の状態	電源ボタン操作		
起動状態	1～3 秒長押し スリープ状態に移行	4～6 秒長押し 一度スリープ状態に入り再度復 帰 ※ 1	7 秒以上長押し 強制シャットダウン
シャットダウン状態	1 秒以上長押し 起動		
スリープ状態	1～3 秒長押し スリープ状態から復帰	4～6 秒長押し 再度スリープ状態に移行 ※ 2	7 秒以上長押し 強制シャットダウン

※ 1 Windows 7 の場合はスリープ状態に移行

※ 2 Windows 7 の場合はスリープ状態から復帰

## バッテリー使用上のご注意

---

- ・本機以外のタブレットにバッテリーを装着しないでください。故障の原因となります。
- ・バッテリーは下記の温湿度の範囲内でご使用ください。
  - 動作時 温度：-10～50℃ 湿度：10～90%（ただし、結露無きこと）
  - 非動作時 温度：-20～60℃ 湿度：10～90%（ただし、結露無きこと）
  - 充電時 温度：0～35℃ 湿度：10～90%（ただし、結露無きこと）
- ・バッテリーを長期間使用しない場合は、本機から取り外し非動作時の温度範囲内で保管してください。
- ・バッテリーを保管する場合は、本機の表示で30%程度充電した状態で本機から取り外し、非動作時の温度範囲内で直接日光の当たらない冷暗所に保管してください。また、性能を維持するために3ヶ月に1回、30%程度充電するようにしてください。
- ・バッテリーを充電する場合は、次の弊社指定の充電方法で充電ください。
  - 本機に装着し、充電する。
  - バッテリー充電台（PC-LTWMBTCH01）に接続し、充電する。
- ・バッテリーは、有寿命品です。充電できない、動作時間が短くなった場合は、新しいバッテリーと交換してください。そのまま使用されますと事故の原因となります。
- ・バッテリーに変形・膨張・異臭・異音・漏出・その他の異常が見られる場合には、絶対に使用および充電しないでください。そのまま使用または充電されますと事故の原因となります。
- ・バッテリーを処分する場合は、弊社テクニカルサポートにご相談ください。

# バッテリーの取り付け / 取り外し / 充電

---

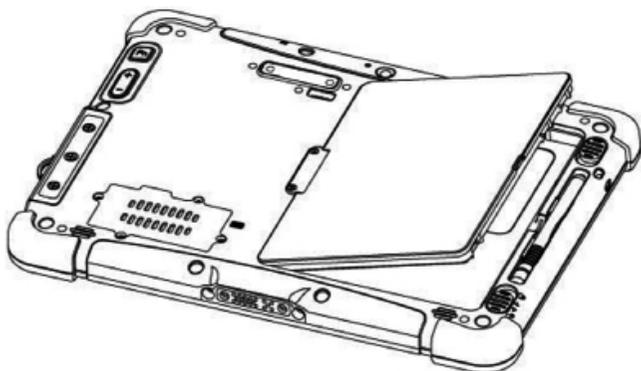
## バッテリーの取り付け

---

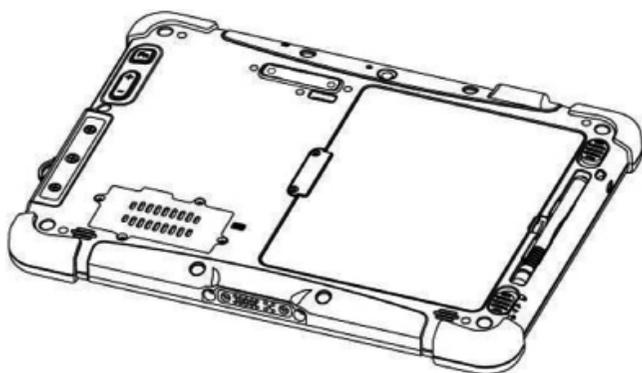
本機に標準のバッテリーを取り付けるには次の手順で行います。

1. 本機の電源をオフにし、本機に接続しているケーブルをすべて取り外す
2. 本機を背面が上になるよう置く
3. バッテリーロックラッチをアンロック側（）の位置に動かす
4. バッテリーリリーススライダースライドさせたまま保持し、バッテリーをコネクター側からバッテリー格納部に取り付ける

バッテリーを完全に取り付けるまで、バッテリーリリーススライダースライドさせたままにしてください。



5. バッテリーがバッテリー格納部に完全に取り付けられている（本体とバッテリーが平坦になるように取り付けられている）ことを確認し、バッテリーリリーススライダースライドを離す



6. バッテリーロックラッチをロック側（）の位置に動かす

## バッテリーの取り外し

---



### メモ

バッテリーのホットスワップに対応したモデルで、ホットスワップでの交換を行う場合は、手順1は必要ありません。

1. 本機の電源をオフにし、本機に接続しているケーブルをすべて取り外す
2. 本機を背面が上になるように置く
3. バッテリーロックラッチをアンロック側（）の位置に動かす
4. バッテリーリリーススライダーをスライドさせたまま保持し、バッテリー格納部側面のくぼみから、バッテリーに指をかけ、持ち上げて取り外す

## 電源に接続する

---

本機は内蔵バッテリー、または付属の電源アダプターにより動作します。

なお、本機を初めて使用する場合は、付属の電源アダプターを使用して操作をすることを推奨します。



### 注意

電源アダプターは本製品に付属のものを使用してください。付属の電源アダプター以外を使用した場合、本機やバッテリーの故障や破損の原因となります。

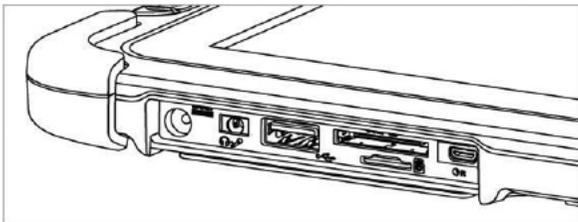


### 注意

初めて本機を起動する際に、電源アダプターではなく、内蔵バッテリーを使用する場合は、起動前にバッテリーがフル充電されていることを確認してください。

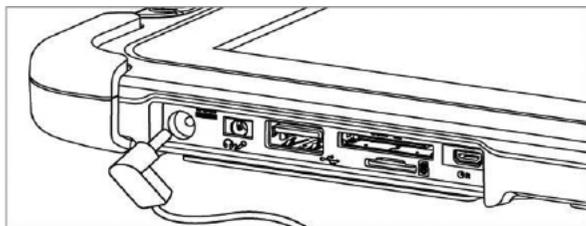
本機に電源アダプターを接続するには次の手順で行います。

1. 本機の側面にある I/O カバーを、ラッチを引いて開く



2. 電源アダプターのコネクタを、本機の電源コネクタに差し込む
3. 電源アダプターに電源コードを差し込む

#### 4. 電源コードをコンセントに差し込む



接続した電源アダプターの電源コードをコンセントに差し込むと、バッテリーの充電が開始します。バッテリーの状態は「バッテリーランプ」で確認することができます。「バッテリーランプ」については「表示ランプ」(p.18)をご覧ください。

# 「HotTab」メニューについて

---

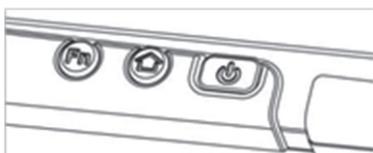
「HotTab」メニューは、アプリケーションを起動するショートカットや、カメラ機能、本機の内蔵デバイスのオン/オフや設定、Fn1 キー /Fn2 キーの設定、電源管理の変更など、本機の機能や設定に素早くアクセスできるメニューです。

## 「HotTab」メニューを表示する

---

「HotTab」メニューを表示するには、本体前面の  (メニュー) ボタンを押すか、「HotTab」アイコンをダブルタップします。

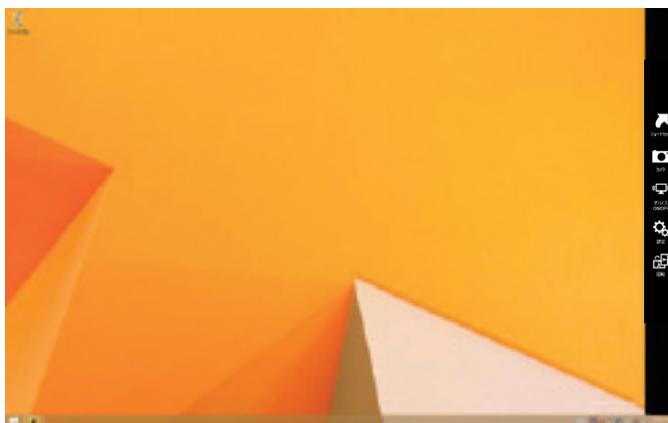
 (メニュー) ボタン (本体前面)



「HotTab」のアイコン



HotTab のメインメニューは、画面の右側に表示されます。



メインメニューには「ショートカット」、「カメラ」、「デバイス ON/OFF」、「設定」、「回転」の5つのメニューがあります。それぞれメニューについては次項以降をご覧ください。

 <p>ショートカット</p>	<p><b>ショートカット</b></p> <p>アプリケーションを起動する「ショートカット」メニューの表示と設定が行えます。よく利用するアプリケーションを登録しておくことで、素早くアプリケーションを起動することができます。</p>
 <p>カメラ</p>	<p><b>カメラ</b></p> <p>撮影用の画面を表示し、写真や動画の撮影ができます。また、カメラに関する設定を行うこともできます。</p>
 <p>デバイス ON/OFF</p>	<p><b>デバイス ON/OFF</b></p> <p>本機のデバイス状態の確認と、有効 / 無効の切り換え、設定ができます。</p>
 <p>設定</p>	<p><b>設定</b></p> <p>本機の情報、バッテリーの状態、電源管理設定や Fn1 ボタン / Fn2 ボタンの設定などが行えます。</p>
 <p>回転</p>	<p><b>回転</b></p> <p>画面の自動回転の有効 / 無効と、無効時の画面の向きの設定ができます。</p> <p>※ Windows 7 の場合にのみ表示されます。</p>

## 「ショートカット」メニュー

---

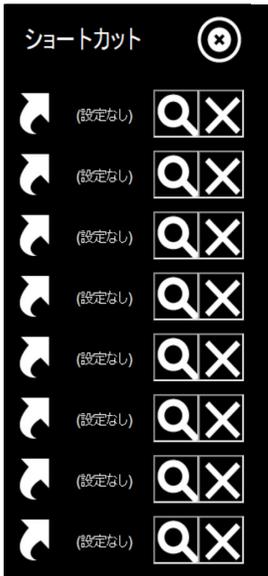
アプリケーションを起動する「ショートカット」メニューを表示します。

表示されたショートカットをタップして設定したアプリケーションを素早く起動することができます。

また、アプリケーションの登録や変更もこのメニューから行います。

「ショートカット」メニューには、アプリケーションを8個まで登録することができます。

### 「ショートカット」メニュー



### アプリケーションを登録する

1. 「HotTab」を表示する
2. 「ショートカット」ボタンをタップする
3. アプリケーションを登録するショートカットの  ボタンをタップする  
ファイル選択画面が表示されます。
4. 登録したいアプリケーションを選択する
5. 「開く」ボタンをタップする

### アプリケーションの登録を解除する

1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「ショートカット」ボタンをタップする
3. 解除するアプリケーションが登録されているショートカットの  ボタンをタップする  
アプリケーションの登録が解除され、ショートカットには「設定なし」と表示されます。

「HotTab」メニューを閉じるには、右上の  ボタンをタップしてください。

## 登録したショートカットを使用する

1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「ショートカット」ボタンをタップする
3. 起動したいアプリケーションを登録したショートカットをタップする

## 「カメラ」メニュー

---

写真や動画の撮影、およびカメラ機能の設定が行えます。

### カメラ機能を使用する前に

カメラ機能を使用する前に、「HotTab」メニューの「デバイス ON/OFF」メニューでカメラ機能がオンになっていることを確認してください。

1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「デバイス ON/OFF」ボタンをタップする  
カメラ機能を含む、内蔵デバイスの状態が表示されます。
3. 「カメラ」アイコンで状態を確認する  
アイコンの色で状態を確認できます。

アイコン	アイコンの色	状態
 カメラ	オレンジ	有効
	白	無効

4. カメラ機能が無効（アイコンが白）の場合は、「カメラ」アイコンをタップして、カメラ機能を有効（アイコンがオレンジ）にする
5. （メニュー）ボタンを押して「HotTab」メニューに戻る

## カメラ機能を使用する

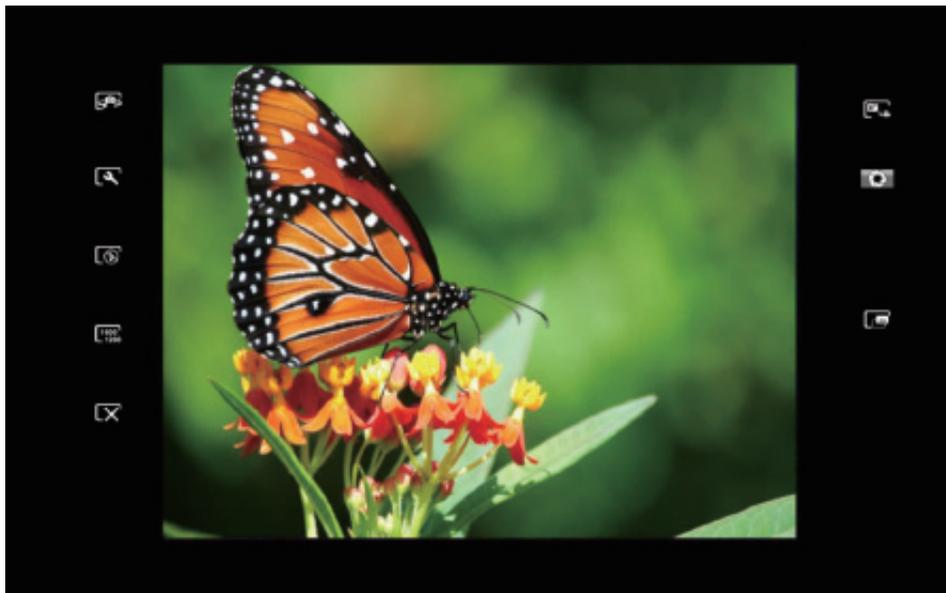
カメラ機能を使用する場合は、次の手順でカメラ UI を表示します。

1. 「HotTab」メニューを表示する

2. 「カメラ」ボタンをタップする

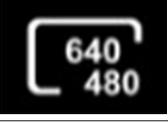
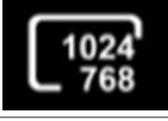
カメラ UI が表示されます。カメラ UI は全画面表示となります。

カメラ UI は横画面で固定されます。



## カメラ UI のボタンについて

カメラ UI 上のボタンについては、次の表をご覧ください。

番号	機能	アイコン	説明
1	カメラ切り換え		フロントカメラ / リアカメラを切り換えます。
2	設定		カメラの設定ページを表示します。次の設定ができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Picture Save 写真を保存する場所の設定 / 確認</li> <li>• Video Save 動画を保存する場所の設定 / 確認</li> <li>• Picture Quality 写真の（圧縮）品質の設定</li> </ul>
3	撮影時のフラッシュ制御		フラッシュの使用を禁止します。
			周辺の明るさにかかわらずフラッシュを使用します。
			周辺の明るさによって、自動でフラッシュを使用します。
4	撮影画素数 <sup>※</sup>		640 × 480 で撮影します。
			1,024 × 768 で撮影します。
			1,600 × 1,200 で撮影します。
			2,592 × 1,944 で撮影します。
5	終了		カメラ UI を終了し、「HotTab」メニューを閉じます。

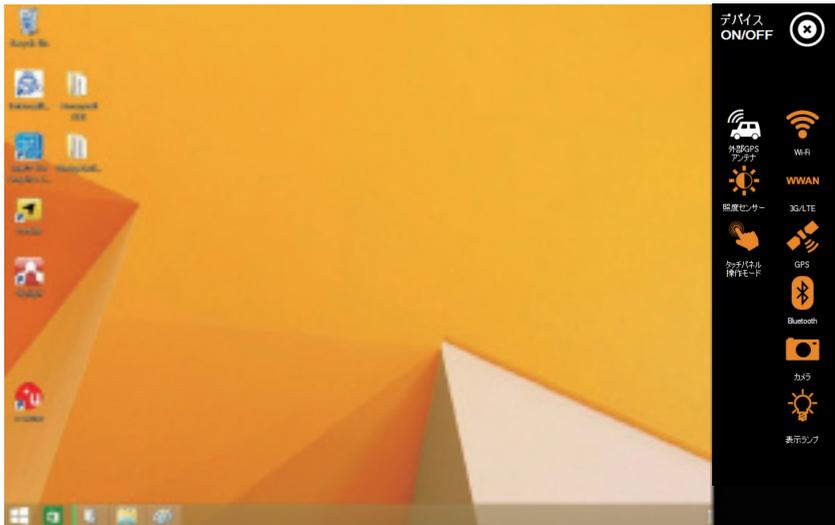
※ハードウェアの仕様により、選択できる解像度が異なる場合がございます。

番号	機能	アイコン	説明
6	静止画 / 動画モード切り換え※		静止画撮影モードと動画撮影モードを切り換えます。
7	撮影 / 録画（撮影モードにより自動で表示が切り換わります）		静止画撮影モード時のシャッターボタンです。タップすると撮影します。
			動画撮影モード時の録画ボタンです。タップすると録画を開始します。録画中にタップすると、録画を終了します。
8	保存フォルダの表示		撮影した静止画 / 動画を保存しているフォルダを表示します。

※動画撮影モードは音声の保存はされません。

## 「デバイス ON/OFF」メニュー

ワイヤレス LAN、Bluetooth などの本機の内蔵デバイスや機能の状態の確認や設定に素早くアクセスすることができます。



設定できるデバイス、機能は次の通りです。(機種により異なる場合がございます。)

- ・ワイヤレス LAN (Wi-Fi)
- ・ワイヤレス WAN (3G/LTE)
- ・GPS
- ・Bluetooth
- ・カメラ
- ・表示ランプ
- ・外部 GPS アンテナ
- ・照度センサー
- ・タッチパネル

## ワイヤレス LAN (Wi-Fi) 機能を使用する

ワイヤレス LAN (Wi-Fi) 機能でネットワークに接続する場合は、次の手順で行います。

1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「デバイス ON/OFF」 ボタンをタップする
3. 「Wi-Fi」 アイコンで状態を確認する  
アイコンの色で状態を確認できます。

アイコン	アイコンの色	状態
	オレンジ	有効
	白	無効

4. ワイヤレス LAN (Wi-Fi) 機能が無効 (アイコンが白) の場合は、「Wi-Fi」 アイコンをタップして、ワイヤレス LAN (Wi-Fi) 機能を有効 (アイコンがオレンジ) にする
5. Windows の通知領域に表示されているネットワーク接続のアイコンをタップする  
接続可能なワイヤレスネットワークの一覧が表示されます。
6. 接続するネットワークをダブルタップする  
必要に応じて、認証に必要な情報を入力してください。
7. ネットワークへの接続設定が完了したら、Internet Explorer などの Web ブラウザを起動して正常にインターネットの閲覧ができるか確認する



### メモ

ネットワークへの接続状態は、通知領域のネットワーク接続のアイコンで確認できます。アイコンに表示されているバーが多いほど、ワイヤレス LAN (Wi-Fi) の接続強度が強い状態です。

## ワイヤレス WAN (3G/LTE) 機能を使用する (3G/LTE 機能搭載モデルのみ)

### ■ SIM カードの挿入

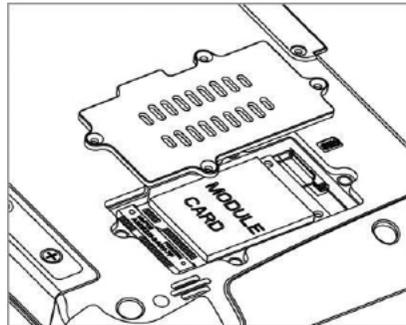
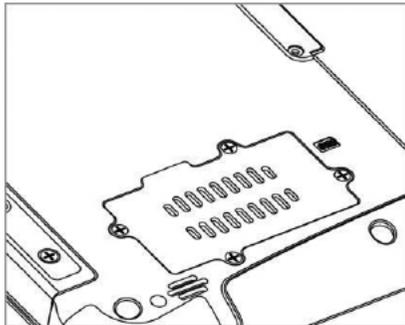


#### 注意

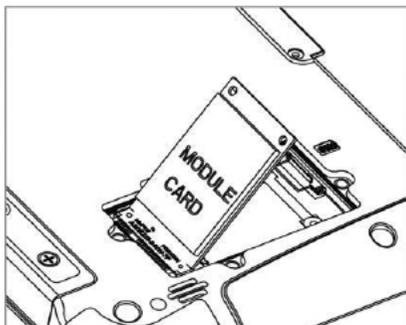
- ・3G/LTE モジュールと Micro SIM カードを取り付ける前に本機の電源をオフにしてください。オンにしたまま取り付けを行うと破損、故障の原因となります。
- ・Micro SIM サイズ以外の SIM カードを挿入しないでください。SIM カードがスロットから取り出せなくなる可能性があります。
- ・NTT ドコモ対応モデル、SoftBank 対応モデルは市販の SIM 変換アダプターを使用しないでください。SIM カードがスロットから取り出せなくなる可能性があります。
- ・KDDI(au) 対応モデルで SIM 変換アダプターを使用する場合は、SIM と変換アダプターの間隙が無いように装着ください。隙間があると SIM カードがスロットから取り出せなくなる可能性があります。

本機は 3G/LTE モジュール (オプション) によるモバイルネットワークへの接続に対応しています。モバイルネットワークへの接続を利用するアプリケーションを使用する前に、次の手順で Micro SIM カードを本機に挿入してください。

1. 本機の電源をオフにする
2. 4 つのネジを外して本体背面のカバーを取り外す

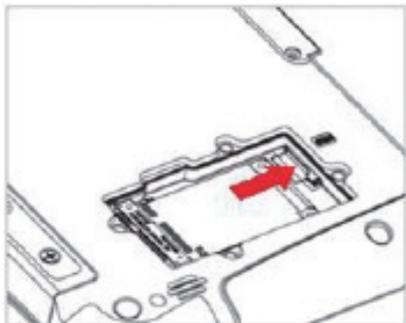


3. 3G/LTE モジュールのネジを取り外す
4. アンテナを LTE モジュールから取り外す  
※接続ケーブルやコネクタなどを破損しないようにご注意ください
5. 3G/LTE モジュールを引き起こして取り外す



6. Micro SIM カードの端子面が下、ノッチが挿入方向（右方向）にあることを確認する Micro SIM カードを本体のスロットに挿入する。

スロットの位置は「SIM」と書かれたアイコンで確認できます。



7. 3G/LTE モジュールを元の位置に戻し、ネジで固定する
8. アンテナ線を LTE モジュールの MAIN コネクタに取り付ける
9. カバーを元の位置に戻し、ネジで固定する

### ■ ワイヤレス WAN (3G/LTE) 機能の使用

ワイヤレス WAN (3G/LTE) 機能でネットワークに接続する場合は次の手順で行います。

1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「デバイス ON/OFF」 ボタンをタップする
3. 「WWAN」アイコンで状態を確認する  
アイコンの色で状態を確認できます。

アイコン	アイコンの色	状態
	オレンジ	有効
	白	無効

4. ワイヤレス WAN (3G/LTE) 機能が無効 (アイコンが白) の場合は、「WWAN」アイコンをタップして、ワイヤレス WAN (3G/LTE) 機能を有効 (アイコンがオレンジ) にする



#### メモ

- ・ ネットワークへの接続状態は、通知領域のネットワーク接続のアイコンで確認できます。アイコンに表示されているバーが多いほど、ワイヤレス WAN (3G/LTE) の接続強度が強い状態です。
- ・ Windows 7 の場合、通知領域にある Access Connections のゲージやアイコン、または Access Connections のワイヤレス ステータス アイコンで確認することもできます。

## GPS 機能を使用する

GPS 機能を有効にする場合は、次の手順で行います。

1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「デバイス ON/OFF」ボタンをタップする
3. 「GPS」アイコンで状態を確認する  
アイコンの色で状態を確認できます。

アイコン	アイコンの色	状態
	オレンジ	有効
	白	無効

4. GPS 機能が無効（アイコンが白）の場合は、「GPS」アイコンをタップして、GPS 機能を有効（アイコンがオレンジ）にする

## Bluetooth 機能を使用する

Bluetooth 機能を有効にする場合は、次の手順で行います。

1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「デバイス ON/OFF」ボタンをタップする
3. 「Bluetooth」アイコンで状態を確認する  
アイコンの色で状態を確認できます。

アイコン	アイコンの色	状態
	オレンジ	有効
	白	無効

4. Bluetooth 機能が無効（アイコンが白）の場合は、「Bluetooth」アイコンをタップして、Bluetooth 機能を有効（アイコンがオレンジ）にする
5. Windows の通知領域の Bluetooth アイコンをクリックし、表示されたメニューの「デバイスの追加」をタップする  
Windows が自動で Bluetooth デバイスを検索します。
6. 接続したい Bluetooth デバイスを選択する  
以降は、画面の指示に従ってペアリング処理を行ってください。

## 表示ランプのオン/オフ

本機の表示ランプ（電源ランプ、バッテリーランプ、ワイヤレスランプ）は「HotTab」メニューからオン/オフを切り換えることができます。オン/オフを切り換える場合は、次の手順で行ってください。

1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「デバイス ON/OFF」 ボタンをタップする
3. 「表示ランプ」アイコンで状態を確認する  
アイコンの色で状態を確認できます。

アイコン	アイコンの色	状態
	オレンジ	オン（本機の状態によって点灯、点滅します）
	白	オフ（本機の状態にかかわらず消灯します）

4. 「表示ランプ」アイコンをタップして、表示ランプのオン/オフを切り換える

## 外部 GPS アンテナ



### 重要

車載用ドックは、標準 SMA コネクタを搭載しておりますが、外部 GPS アンテナはサポート対象外です。外部 GPS アンテナの取り付けをしないでください。

外部 GPS アンテナはサポート対象外ですので、有効化しないでください。

1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「デバイス ON/OFF」 ボタンをタップする
3. 「外部 GPS アンテナ」アイコンで状態を確認する  
アイコンの色で状態を確認できます。

アイコン	アイコンの色	状態
 外部 GPS アンテナ	オレンジ	有効（サポート対象外です。使用しないでください）
	白	無効（内蔵のアンテナを使用します）

## 照度センサーのオン / オフ

「HotTab」メニューから照度センサーのオン / オフができます。照度センサーのオン / オフは次の手順で行います。

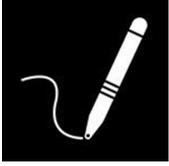
1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「デバイス ON/OFF」 ボタンをタップする
3. 「照度センサー」アイコンで状態を確認する  
アイコンの色で状態を確認できます。

アイコン	アイコンの色	状態
 照度センサー	オレンジ	有効
	白	無効

4. 「照度センサー」アイコンをタップして、照度センサーの有効 / 無効を切り換える

## タッチパネル操作モードを変更する

本機のタッチパネルには次の3つの操作モードがあり、使用状況にあわせてユーザーが変更できます。

操作モード		説明
ハンド/水滴モード		タッチパネル上に水滴がある場合でも誤入力を防止する機能があります。 次の入力に対応しています。 <ul style="list-style-type: none"><li>・タッチペン（ペン先がゴム製）</li><li>・指先</li></ul>
スタイラスペンモード		出荷時設定のモードです。 付属のタッチパネル用スタイラスペンなど、スタイラスペンによる操作に対応したモードです。また、指でのタッチ操作も可能です。 次の入力に対応しています。 <ul style="list-style-type: none"><li>・スタイラスペン</li><li>・タッチペン（ペン先がゴム製）</li><li>・指先</li></ul>
手袋モード		手袋をした状態でも操作が可能なモードです。 次の入力に対応しています。 <ul style="list-style-type: none"><li>・手袋をした状態での指先</li><li>・指先</li><li>・タッチペン（ペン先がゴム製）</li></ul>

タッチパネルの操作モードを切り換えるには、以下の方法をおこないます。

- ・「HotTab」メニューで切り換える

### ■「HotTab」メニューで切り換える

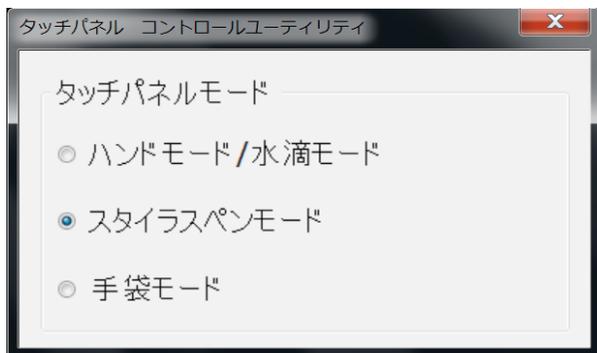
「HotTab」メニューでタッチパネルの操作モードを切り換える場合は、次の手順で行います。

1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「デバイス ON/OFF」ボタンをタップする
3. 「タッチパネル操作モード」アイコンをタップする



「タッチパネル コントロールユーティリティ」が表示されます。

4. タッチパネルモード欄で、タッチパネルの操作モードを選択する



これでタッチパネルの操作モードの切り換えは完了です。



## Fn1 ボタン /Fn2 ボタンの設定を変更する



Fn1 ボタン /Fn2 ボタンの設定を変更することができます。

Fn1 ボタン /Fn2 ボタンごとに、短く押した場合と長押しした場合の2つの設定ができます。

本機の動作中に、Fn1 ボタン /Fn2 ボタンを操作することで、設定した機能が動作したり、アプリケーションが起動したりします。

Fn1 ボタン /Fn2 ボタンの設定を変更するには、次の手順を行います。



1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「設定」ボタンをタップする
3. 「ファンクション 1」、「ファンクション 2」のアイコンから、設定を変更したいキーのアイコンをタップする
4. ユーティリティの下に表示されている「短押し」「長押し」をタップし、短く押したとき、長く押したときのどちらの機能を設定するかを選択する。

現在選択中の設定は、ユーティリティの上の部分に表示されます。

5. 一覧から設定するアプリケーション / 機能のアイコンをタップする  
一覧にないアプリケーションを設定したい場合は、次の「一覧にないアプリケーションを設定する」をご覧ください。

## ■ 一覧にないアプリケーションを設定する

一覧にないアプリケーションを Fn1 ボタン /Fn2 ボタンに設定したい場合は、アプリケーション / 機能を選択する画面から、次の手順で行ってください。

1. 「カスタマイズ」欄の  をタップする  
ファイルを選択する画面が表示されます。
2. 選択したいアプリケーションの実行ファイルを選択する
3. 「Done」をタップする  
設定が保存されます。

## ■ カスタマイズの設定を削除、変更する

「一覧にないアプリケーションを設定する」の手順で設定した「Customize」の設定を削除する場合は、「カスタマイズ」欄の  をタップしてください。

変更する場合は、一度設定を削除した後、「一覧にないアプリケーションを設定する」の手順で設定しなおしてください。

## 輝度



本機のディスプレイの輝度を 11 段階で設定します。

タップすると画面中央にスライダーが表示されるので、タップして設定を変更してください。

※ Windows 7 の場合にのみ表示されます。

## 「回転」メニュー

---

画面の自動回転の有効/無効と、自動回転を無効に設定している場合の画面表示の向きを設定できます。

※ Windows 7 の場合にのみ表示されます。

### 画面の自動回転の有効/無効を切り換える

画面の自動回転の有効/無効を切り換える場合は、次の手順で行います。

1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「回転」ボタンをタップする
3. 「自動回転」アイコンで状態を確認する  
アイコンの色で状態を確認できます。

アイコン	アイコンの色	状態
 自動回転	オレンジ	有効（本体の向きにあわせて、画面の表示方向が自動的に切り替わります）
	白	無効（本体の向きに関係なく、設定した向きで表示されます。）

4. 「自動回転」アイコンをタップして、自動回転の有効/無効を切り換える

### 自動回転無効時の画面の向きを設定する

自動回転無効時に、画面の向きを設定する場合は次の手順で行います。

1. 「HotTab」メニューを表示する
2. 「回転」ボタンをタップする
3. 表示されたメニューで、矢印アイコンをタップして向きを設定する  
矢印の指す側が画面の上になります。

## その他の機能・設定

### バッテリーのホットスワップ

LT-WMT10M モデルではホットスワップ用のバックアップバッテリーを内蔵しており、バッテリー交換のために電源をオフにする必要はありません。

バッテリーのホットスワップを行うには、バックアップバッテリーが十分に充電されている必要があります。

バックアップバッテリーの残量の確認方法は「設定」メニューの「バッテリー情報」をご覧ください。バックアップバッテリーの残量が「低」の場合、ホットスワップは推奨しません。

電源を切ってバッテリーを交換するか、本機にバッテリーを取り付けたまま、電源アダプターを接続し、バックアップバッテリーの残量表示が「中」または「高」になるまで充電してください。



#### メモ

- ・バックアップバッテリーが満充電の場合、ホットスワップでのバッテリー交換作業に使用できる時間は最大5分になります。
- ・バックアップバッテリーへの充電はバッテリーから行われます。また、バックアップバッテリーは取り外すことはできません。

バッテリーのホットスワップは次の手順で行います。

1. バッテリーを取り外す
2. 新しいバッテリーを取り付ける
3. 「HotTab」メニューでバッテリー残量が正しく表示されているかを確認する  
正しく表示されていない場合、バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください。  
バッテリー残量が正しく表示されている場合は交換は完了です。そのまま本機をお使いください。



#### 注意

電池の性能の維持と、電池の過放電により問題が発生することを防ぐため、2ヶ月に1回はバックアップバッテリーを充電してください。

## インストール OS を変更する場合の設定

---

本機はお客様のご注文に基づいて、OS をプリインストールし出荷しております。

お客様で自身で別の OS をインストールする必要がある場合、出荷時の OS とインストールする OS によっては、BIOS の設定を変更する必要があります。

「BIOS 設定書」の手順をご覧になり、本機の設定を変更してください。



### メモ

本機のボタンによる、BIOS の操作方法については、「本体ボタンによるキーボードエミュレーション」の POST 時の場合をご覧ください。



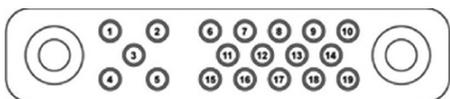
### 重要

リカバリ DVD を作成する場合は、リカバリディスク作成時のモードに注意してください。  
Windows PE3.0 は Windows 7 の Legacy モードのみをサポートします。  
Windows PE5.0 以降では Windows 7/8/8.1/10 の Legacy モード、UEFI モードをサポートします。  
リカバリ DVD 作成時のモードと BIOS のモードが一致する必要があります。

## コネクターのピン配列について

### ドッキングコネクタ ピン配列

本機は本体底面に 19 ピンのドッキングコネクタを搭載しています。ピンの配列については下図ならびに表をご覧ください。



ドッキングコネクタ (19 ピン)			
ピン番号	説明	ピン番号	説明
1	RF_GND	11	NC
2	DOCK_DET#	12	NC
3	GPS ANT	13	GND
4	RF_GND	14	Power
5	RF_GND	15	USB+
6	NC	16	USB-
7	NC	17	GND
8	DETECT+	18	GND
9	Power	19	DETECT-
10	Power		

# COM ポートの定義

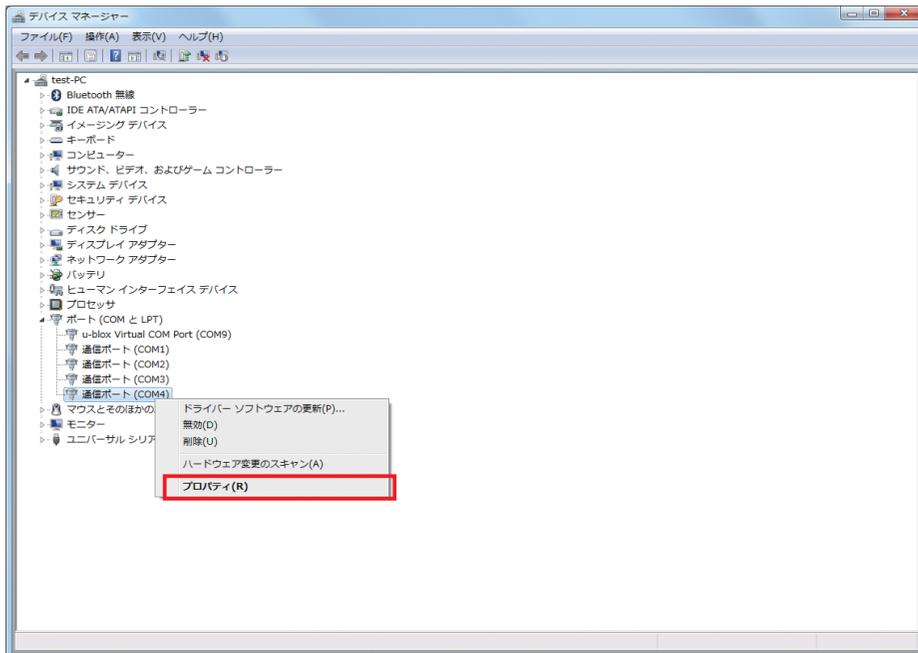
本機は、「HotTab」メニューで内蔵の周辺機器を制御します。全てのCOMポートとデバイスは本機にインストールされたOSにより定義されています。

COMポートの番号とデバイスの対応については、以下の表をご覧ください。

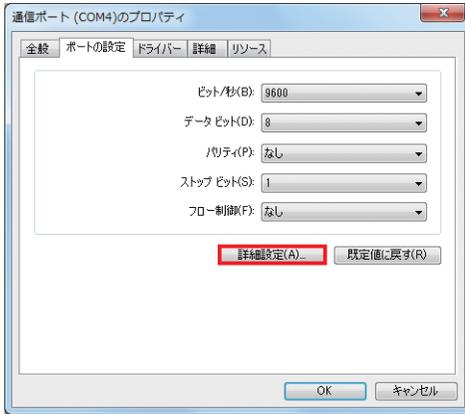
COMポート	デバイス
COM 1	RS232 at I/O
COM 2	RS232 of Expansion Port (optional)
COM 4	Bluetooth Auto Pairing
COM 9	GPS
COM 11	RS232 at Docking (optional)
COM 15	Barcode Reader (optional)

OS 初回起動時や OS 再インストール時に、COMポートの番号が正しく設定されているか確認を行ってください。設定に異なる箇所がある場合、「HotTab」メニューで機器の制御などの機能が正常に動作しない可能性があります。正常に動作させるには、次の手順でCOMポートの番号を設定してください。

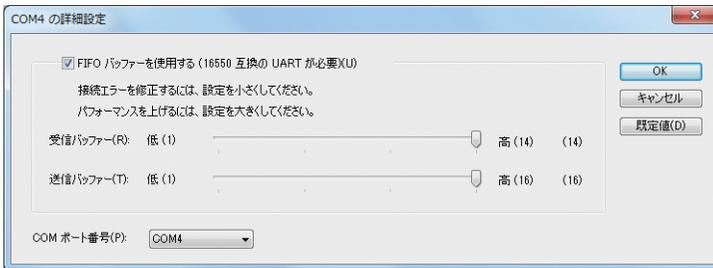
1. 「デバイス マネージャー」を表示し、「ポート (COM と LPT)」の下にある、「通信ポート (COM \*)」から、設定を変更する必要があるCOMポートを長押しし、表示されたメニューから「プロパティ」をタップする



2. 「ポートの設定」タブをタップし、「詳細設定」ボタンをタップする



3. 「COM ポート番号」のリストから、正しい COM ポートの番号を選択し、「OK」をタップする  
COM ポート番号とデバイスの対応については、前出の表をご覧ください。



4. 「デバイス マネージャー」で COM ポート番号が正しく設定しなおされていることを確認し、本機を再起動する

# デスクトップクレードル (PC-LTWMDTCR01)

---

## デスクトップクレードル使用上のご注意

---

- ・ LT-WMT10 シリーズ以外のタブレットをデスクトップクレードルに接続しないでください。故障の原因となります。
- ・ タブレットをデスクトップクレードルに着脱する際は、正面から両手で着脱してください。
- ・ デスクトップクレードルにはタブレット本体付属の電源アダプターをご使用ください。それ以外を使用されますと故障の原因となります。
- ・ デスクトップクレードルの各機能は、電源アダプターで電力を供給しなければご使用になれません。
- ・ デスクトップクレードル付属のプレートには、穴が開いている部分があります。指などを挟まないよう注意してご使用ください。

## デスクトップクレードル仕様

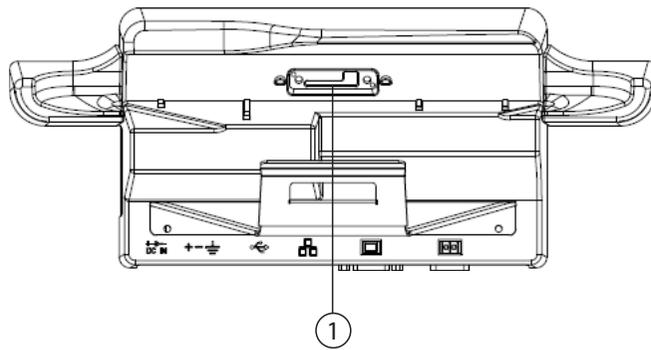
---

電源	電源コネクター× 1 (12-19V DC IN)
I/O Port	USB 2.0 ポート× 4 (右側面× 2, 背面× 2)
	有線 LAN コネクター (RJ-45) × 1 (10/100Mbps)
	VGA ポート× 1
	シリアル (COM) ポート× 1 (RS232 D-sub 9pin)
使用環境	動作時 温度：-10~50℃ 湿度：10~90% (ただし、結露無きこと)
	非動作時 温度：-20~60℃ 湿度：10~90% (ただし、結露無きこと)
外形寸法	幅 300.9 × 高さ 222.5 × 奥行 121.1mm (突起物含まず)
重量	0.88kg

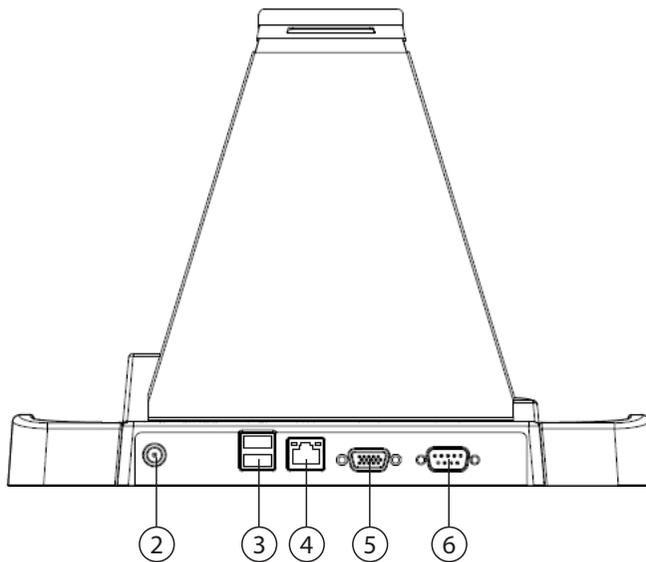
# デスクトップクレードル各部の名称と機能

---

天面

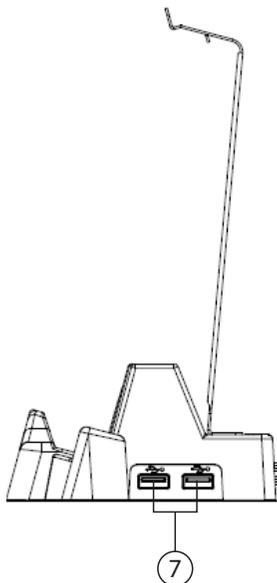


背面



# デスクトップクレードル各部の名称と機能

## 右側面

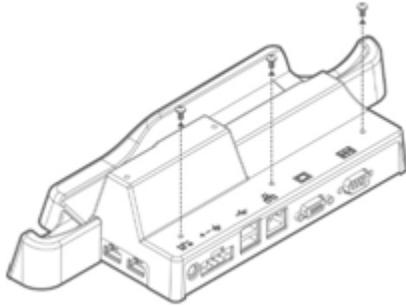


番号	名前	説明
1	タブレット接続コネクタ	デスクトップクレードルとタブレットを接続します。
2	電源コネクタ	タブレット本体付属の電源アダプターを接続して電力を供給します。
3	USB 2.0 ポート (2 ポート)	USB 機器と接続します。
4	有線 LAN コネクタ	有線 LAN ケーブルを接続します。
5	VGA ポート	外部モニターと接続します。
6	シリアル (COM) ポート	RS232 機器と接続します。 ※ RS232 機器の接続、切断は必ず本体の電源を切り、電源アダプターを取り外した状態で行ってください。
7	USB 2.0 ポート (2 ポート)	USB 機器と接続します。

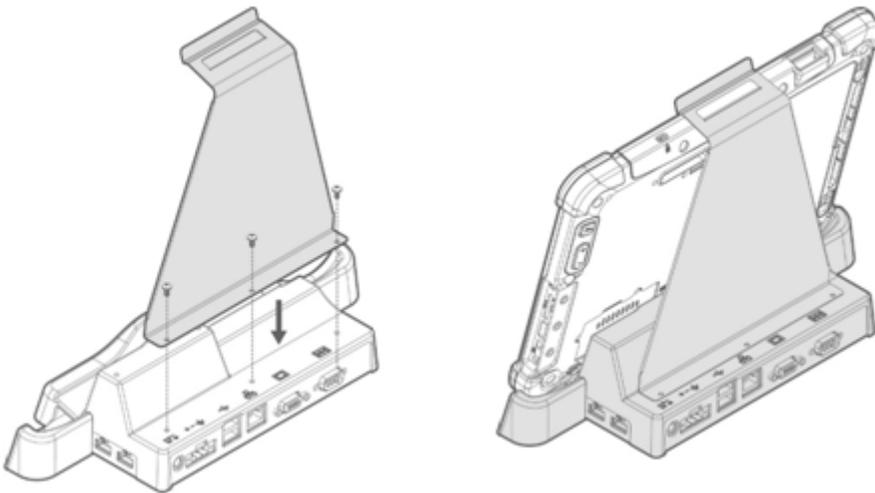
## デスクトップクレードルへのプレート装着方法

---

1. デスクトップクレードル背面に装着されているネジ3本を外します。



2. デスクトップクレードル付属のプレートを挟み込むようにして、1項で外したネジ3本で固定します。



# 車載クレードル (PC-LTWMVHCR01)

## 車載クレードル使用上のご注意

- ・ LT-WMT10 シリーズ以外のタブレットを車載クレードルに接続しないでください。  
故障の原因となります。
- ・ 車載クレードルには、タブレット本体付属の電源アダプターもしくは車載クレードル付属のシガーソケット用電源ケーブルをご使用ください。  
それ以外を使用されますと故障の原因となります。
- ・ 車載クレードルの各機能は、電源アダプターもしくは車載クレードル付属のシガーソケット用電源ケーブルで電力を供給しなければご使用になれません。
- ・ 水滴等がピンへ触れると故障の原因になりますのでタブレット装着・脱着する際には、水滴等を拭き取った上で行ってください。

## 車載クレードル仕様

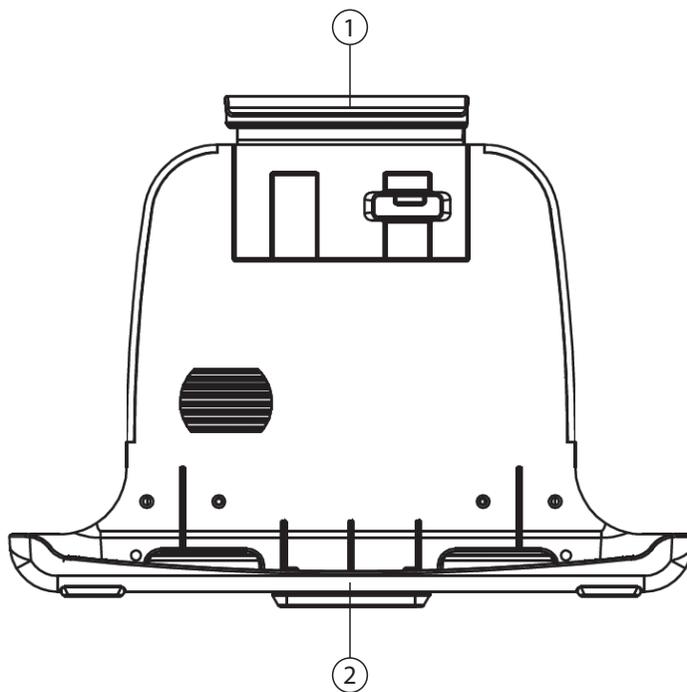
VESA 穴サイズ	75 × 75mm
電源	電源コネクタ× 1 (12-32V DC IN)
I/O Port	USB 2.0 ポート× 4 (右側面× 2, 底面× 2)
	有線 LAN コネクタ (RJ-45) × 1 (10/100Mbps)
	シリアル (COM) ポート× 1 (RS232 D-sub 9pin)
防塵・防滴	IP52 ※ 1 ※ 2
使用環境	動作時 温度：-10~50℃ 湿度：10~90% (ただし、結露無きこと)
	非動作時 温度：-20~60℃ 湿度：10~90% (ただし、結露無きこと)
外形寸法	幅 284.4 × 高さ 213.3 × 奥行 73.2mm (突起物含まず) ※ 2
重量	0.64kg

※ 1 無破壊、無故障を保障するものではありません。

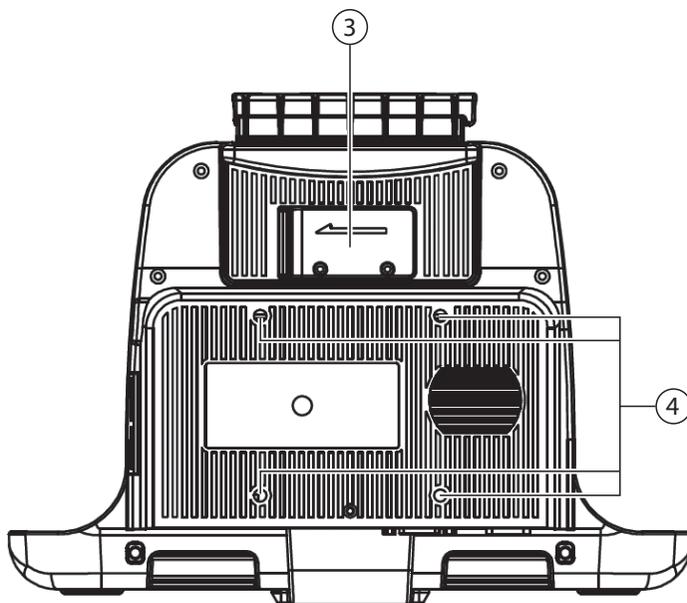
※ 2 タブレット固定時

# 車載クレードル各部の名称と機能

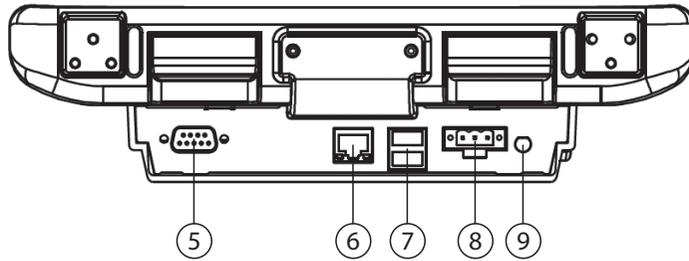
前面



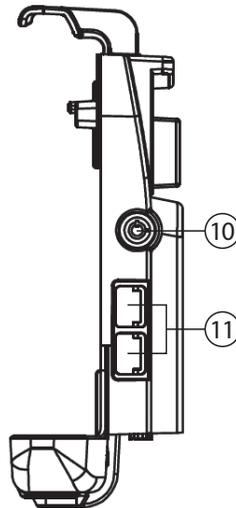
背面



底面



右側面



番号	名前	説明
1	フック	タブレットを車載クレードルに装着した状態で、音がするまで下に押しすとタブレットを固定することができます。
2	タブレット接続コネクタ	車載クレードルとタブレットを接続します。
3	ラッチ	矢印の方向にスライドさせることで、「フック」の固定を解除することができます。
4	VESA 取付穴	VESA 規格 75mm × 75mm 対応の取付穴です。
5	シリアル (COM) ポート	RS232 機器と接続します。 ※ RS232 機器の接続、切断は必ず本体の電源を切り、電源アダプターを取り外した状態で行ってください。
6	有線 LAN コネクタ	有線 LAN ケーブルを接続します。 ※車内の振動等にも耐えられるよう抜けにくくなっています。
7	USB 2.0 ポート (2 ポート)	USB 機器と接続します。 ※車内の振動等にも耐えられるよう抜けにくくなっています。
8	電源コネクタ	車載クレードル付属のシガーソケット用電源ケーブル、電源アダプター用ケーブルを接続して電力を供給します。
9	外部 GPS アンテナ用ポート	サポート対象外です。使用しないでください。
10	鍵穴	付属の鍵を使用することで、「フック」の固定をロックすることができます。
11	USB 2.0 ポート (2 ポート)	USB 機器と接続します。 ※使用時はキャップを外してお使いください。

# バッテリー充電台 (PC-LTWMBTCH01)

---

## バッテリー充電台使用上のご注意

---

- ・ LT-WMT10 シリーズ以外のバッテリーをバッテリー充電台に接続しないでください。  
故障の原因となります。
- ・ バッテリー充電台にはバッテリー充電台付属の電源アダプターをご使用ください。  
それ以外を使用されますと故障の原因となります。
- ・ バッテリーを接続する時は、バッテリー充電台の奥までしっかりと差し込んでください。  
奥まで差し込まないと、充電されない場合がございます。
- ・ バッテリーを取り外すときはバッテリーをまっすぐ上方向に引っ張り取外してください。  
上方向以外に無理な力を加えますと故障の原因となります。

## バッテリー充電台仕様

---

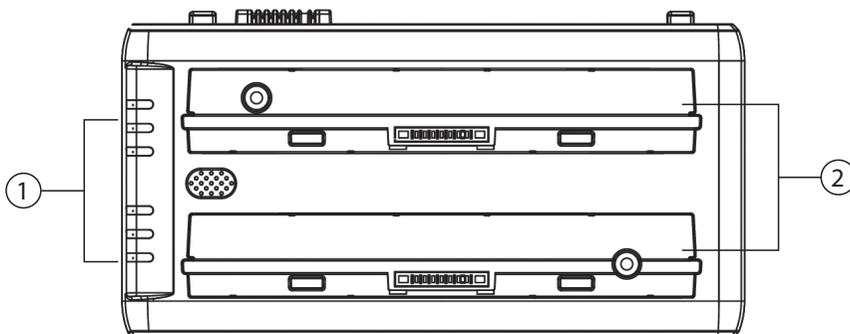
電源	電源コネクター× 1 (19V DC IN)
使用環境	動作時 温度：0~40℃ 湿度：10~90% (ただし、結露無きこと)※ 1 非動作時 温度：0~40℃ 湿度：10~90% (ただし、結露無きこと)
外形寸法	幅 93.4 × 高さ 34 × 奥行 183.2mm (突起物含まず)
重量	0.3kg

※ 1 本機付属のバッテリーおよび、標準交換バッテリー (PC-LTWMBT01) の充電時温湿度は下記になります。

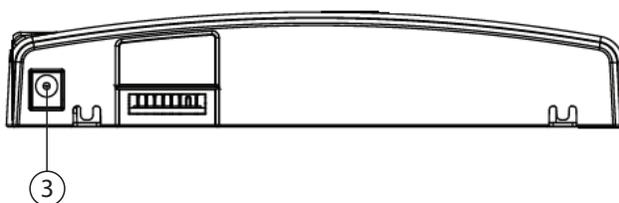
充電時 温度：0 ~ 35℃ 湿度：10 ~ 90% (ただし、結露無きこと)

# バッテリー充電台各部の名称と機能

天面



右側面



番号	名前	説明
1	LED ランプ	緑：バッテリー残量 95% 以上 橙：バッテリー充電中 赤：バッテリー未接続 赤点滅：充電エラー
2	充電ポート	バッテリーを接続するポートです。 LT-WMT10 シリーズ以外のバッテリーは接続しないでください。
3	電源コネクタ	バッテリー充電台付属の電源アダプターを接続して電力を供給します。

# トラブルシューティング

問題	対応
バッテリーが充電されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源アダプターが正しく接続されていることを確認してください。</li> <li>バッテリーが正しく取り付けられていることを確認してください。</li> </ul>
画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機がスリープ状態になっている可能性があります。電源ボタンを押し画面が表示されるか確認してください。</li> <li>画面の輝度が低くなっている可能性があります。輝度をあげてみてください。</li> </ul>
画面が突然消え、電源ランプも消灯した	<ul style="list-style-type: none"> <li>「HotTab」メニューで表示ランプをオフにしているか確認してください。</li> <li>アダプターが正しく接続されていることを確認してください。</li> <li>本機をバッテリーで使用している場合、バッテリーが切れた可能性があります。バッテリーを充電してください。</li> </ul>
ワイヤレス LAN の電波が弱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>電波の範囲外の可能性があります。本機をルーターなど接続する機器の近くに移動させて確認してください。</li> <li>本機の近くや、接続したい機器の近くに、電子レンジやコードレスフォンなど、ワイヤレス LAN の電波と干渉する機器が無いか確認してください。それらの機器があった場合は、本機やワイヤレス LAN 機器から、それらの機器を離してください。</li> </ul>
他のワイヤレス LAN 機器に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機のワイヤレス LAN 機能がオンになっているか確認してください。</li> <li>ネットワーク内のすべてのワイヤレス LAN 機器で、SSID の設定が同じであることを確認してください。</li> <li>本機を再起動してみてください。</li> <li>IP アドレスやサブネットマスクなどネットワークの設定が正しく設定されているか確認してください。</li> </ul>
Bluetooth で他の機器に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機と接続先の機器の両方の Bluetooth 機能がオンになっていることを確認してください。（本機の場合は、「HotTab」メニューから Bluetooth 機能がオン/オフを確認できます。）</li> <li>本機と接続先の機器の両方の電源が入っていて、かつ、検出可能になっていることを確認してください。</li> <li>接続先の機器と本機の距離が 10m 以内であることを確認してください。また、間に壁や大きな障害物が無いことを確認してください。</li> <li>本機と接続先の機器に互換性があることを確認してください。</li> </ul>
GPS を使用するアプリケーションで位置情報が取得できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>「HotTab」メニューで GPS がオンになっていることを確認してください。</li> <li>コントロールパネルで、GPS レシーバーと位置センサーが有効になっていることを確認してください。</li> <li>GPS のカバーエリア外の可能性があります。屋外や、窓の近くに移動してみてください。</li> <li>本機の近くや、接続したい機器の近くに、電子レンジやコードレスフォンなど、GPS の電波と干渉する機器が無いか確認してください。それらの機器があった場合は、本機をそれらの機器から離してください。</li> </ul>

問題	対応
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 音量ボタンで、本機の音量を調整してみてください。</li> <li>• 外部のオーディオ機器を使用している場合は、正しく配線されているか確認してください。</li> </ul>
他のモニターに本機の画面を表示できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• VGA ドライバがインストールされているか確認してください。</li> <li>• 外部出力先の設定が正しく設定されているか確認してください。</li> </ul>
携帯ネットワークが繋がらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 携帯ネットワークが機内モードになっていないことを確認してください。また、OS の起動直後や機内モードをオンからオフの状態に変更した直後などはモジュールの認識に時間がかかる場合がございます。その場合は 30 秒ほどお待ち下さい。</li> <li>• 30 秒以上たっても通信がされない場合は、ワイヤレス WAN 機能を無効にしてから再度有効にしてください。 ワイヤレス WAN 機能の有効 / 無効は「ワイヤレス WAN(3G/LTE)機能の使用」を参照してください。</li> </ul>

